

平成30年 第5回教育委員会議(5月定例)会議録

日時 平成30年5月29日(火)
午後1時30分より
場所 香芝市役所5階 委員会室

〔出席者〕

教育長 村中 義男
委員(教育長職務代理者) 中木 秀一
委員 田中 貴治
委員 石原田 明美
委員 三岡 正美

〔欠席者〕

なし

〔事務局〕

教育部長 福森 るり
教育部次長 澤 和七(こども課長兼任)
教育総務課長 楠本 視和
学校教育課長 上谷 基博
生涯学習課長(青少年センター所長兼任) 隈崎 倫夫
市民図書館長 好川 雅章

〔書記〕

教育総務課主幹 松田 陽介

日程1 定足数の確認

日程2 開会の宣言

教育長 公私とも大変お忙しいなかご参集いただきまして、皆様ありがとうございます。定足数に達しておりますので、これより平成30年第5回教育委員会会議(5月定例)を開会いたします。

日程3 署名委員の指名について

教育長 署名委員は、中木委員と田中委員をお願いいたします。

教育長 前回会議録につきましては、委員の皆様方にその写しを配布いたしております。また、すでに署名委員のご署名をいただいておりますので、前回会議録の朗読につきましては、会議の円滑な進行を図るため省略したいと思います。ご異議ございませんか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長

異議がないということで、前回会議録の朗読を省略いたします。

日程4 教育長の諸報告

教育長

では、日程に基づきまして、平成30年4月24日から本日5月29日までの私の動静についてご報告させていただきます。

4月24日は、第4回教育委員会議終了後、香芝市青少年健全育成協議会理事会に出席し、5月25日に開催される総会における議事内容について審議をお願いいたしました。

4月25日は、関屋小学校と関屋幼稚園にて、「ニコニコあいさつ運動」を行いました。今年度から、市のマスコットキャラクターである「カッシー」をそれぞれの小学校や幼稚園で登場させるサプライズを企画いたしました。当日はあいにくの雨天でしたので、登場は次回へ持ち越しとなりました。

その後、香芝市就学前教育保育協議会に出席し、今後の幼保の在り方について、私の考えを交えながらご挨拶いたしました。

また、志都美・旭ヶ丘小学校の女子ソフトボールチームが全国大会に出場し、見事準優勝となりました。その報告に、監督・選手・保護者が訪問され、当時の思いと全国優勝に向けての抱負を語っていただきました。

4月26日27日は、和歌山市で近畿都市教育長協議会が開催され、参加し、他の近畿県内の市の教育長と交流を図ってまいりました。定期総会後は、情報交換会がありましたが、いろいろと他市の教育長へ話を伺っていますと、大半は学校規模の適正化、合併や統合、また小中一貫などが差し迫った問題であると悩まれていました。なかには、学年を2クラス以上、これを適正規模とされ、新たな配置を検討されている教育長もおられました。そのように考えますと、わが香芝市においてはまだまだ大丈夫であるかと思いがちですが、やはり子どもの数というのは確実に減少していております。全体を眺めながら、整理をしていく時期がきているのかなと思います。今年度は学校施設の長寿命化計画も策定されますので、児童生徒数の推移をみながら、将来を見据えた学校施設の在り方についてもしっかりと議論を行っていただきたいと考えております。

5月1日は、市長より改めて教育長の辞令交付を受けました。市長からは、これまでの行政経験を活かし、働き方改革など、山積する課題に取り組んでほしいという訓示をいただきました。

その後、香芝市立小中学校校長会に出席し、4月のスタートを大きな事故なく、順調に切っていただいたことへのお礼と、ゴールデンウィーク中は、校長先生の立場で学校運営に見落としはないか、新たな意識改革はなされているかなど、見直す機会にさせていただきたいとお願いいたしました。

5月8日は、奈良市のホテルリガレ春日野にて、奈良県市町村教育委員会連合会会議に中木委員とともに出席しました。会議では、本年度の同教育委員会の研修大会を11月9日にふたかみ文化センターで実施することが決定されまして、香芝市が担当することになりました。11月9日の当日は、委員各位のご出席並びにご協力のほどよろしく申し上げます。

5月9日は、15日に開催される香芝市経営会議にて、本市の市民図書館のあり方について協議されるため、それに先立ちまして、参考として伊丹市の図書館「ことば蔵」へ副市長と福森教育部長、好川生涯学習課館長で視察へ行ってきました。図書館の来訪者を増やす取組を市民レベルで行われており、大いに参考となりました。

そして5月15日の経営会議では、さらなるデータ分析及びマーケティングを十分に行った上で、図書館に求められているものはなにかということ把握し、改善案を引き出すこと、そういうことでまた継続協議となりました。

5月16日から18日まで、全国都市教育長協議会定例総会並びに研究大会が岩手県一関市で開催されましたので、参加いたしました。近鉄電車・東海道新幹線・東北新幹線と乗り継ぎまして、約8時間の行程で非常にタイトなスケジュールでございましたけれども、やはり震災による復興さなかの東北地域での開催ということもありましたので、私自身得るものも多くありました。

19日は、香芝市PTA協議会総会があり、教育委員のみなさまとともに出席をし、祝辞を述べさせていただきました。

同日午後からは、保育協議会研究大会があり、市内の「公」「民」の保育士が一同に会して総会に参加し、その後奥村組社長の公演が開催されました。

22日は、社会教育委員会議、25日は公民館運営審議会が開催されまして、それぞれ今年度の事業方針について説明を行い、了承をいただいているところでございます。

そのほかは、今月は各種団体の総会時期でもありましたので、それぞれ出席し、祝辞を述べさせていただきましたところでございます。

そして、本日の第5回教育委員会会議でございます。

以上、本日までの私からの諸報告でございました。何かご意見ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。

三岡委員

失礼いたします。23日水曜日の香芝市人権教育研究会総会、こちらは各教員の方が出席されたかと思いますが、今回のテーマやどんな総会だったのかお聞かせ願えますでしょうか。

教育部長

失礼します。総会の内容はLGBTということで、「性の多様性」ということを含めた内容であったと伺っています。あとは総会行事ということで各種行事報告といったものを先生の間でしていただいたという内容でございました、以上です。

三岡委員

ありがとうございます。いまご説明いただきました中に「LGBT」という言葉が出ましたが、香芝市の教育委員会として、このLGBTのこども達に配慮した今後の具体的な取組などがありましたら、お聞かせ願えますでしょうか。

教育部長

具体的な取組みということで、計画の中に年次的に実施するというようなものが記載されている書類は今手元にはございませんが、人権教育であったり、また道徳教育であったり、それ以外にもあらゆる学校生活の場面で性の多様性については、こども達の発達段階にあわせた教育をおこなっていきたいと考えております。これは文部科学省からもそのような通知が来ておりますので、それに沿った内容のものになるかと思

います。以上です。

三岡委員

ありがとうございます。LGBTの件なのですけれども、特にトランスジェンダー、こころと身体の性が一致しない生徒に対して、私常に考えておりましたのが、中学校の制服を変更してあげることもよいのかなと思っております。女の子だからスカートを履かなければならない、ということに縛られず、ジャケットとパンツ、ジャケットとキュロット・スカートなど、着用する制服を選択できるような、トランスジェンダーに向けた制服を導入している学校が増えてきているようで、もし香芝市でも変更が可能であれば、今後の検討すべき課題の1つに加えていただけたらと思います。制服の変更自体はかなり大きなこととなりますので、学校の校長先生の承諾を得るとか、PTAでアンケートを取ってみなさまの了承を得るといったことがとても大事だともおもいます。校長先生の中には、LGBTに配慮した制服に変更したいというお気持ちを持っている方もいらっしゃいます。また、このようなことはとても大きなこととなりますので、行政が動いて欲しいという希望も伺っております。ですから、これからの検討課題としてあげていただければありがたいかと思っております。

教育長

ありがとうございます。ほかにご意見・ご質問ございませんか。

中木委員

1点のお願いと1点の質問でございます。まずお願いですが、4月25日に、志都美・旭ヶ丘小学校のスポ少の女子部が準優勝したという非常に嬉しい話を聞かせていただいたところです。それは非常に結構で今後ともがんばっていただきたいという気持ちの対極に、いま現在、日大のアメフト部のことがマスコミで取り上げられています。その背景には、勝利至上主義が下のほうに重くのしかかっているのではないかという気がしてなりません。香芝市でも、例えばスポーツ少年団でも指導者をじっくりみていくと、勝利・勝利ばかりにこだわっているという場面が若干見受けられるというような報告を聞いたことがあります。教育委員会担当のこども達、これは、スポーツをやっていくなかで、やはり教育という面で人間形成といったようなことが一番根底になればいけないと私は思います。その意味で、スポ少の結団式がすでに行われたということもあるのですが、中学校の部活でも同じようで、やはり根底にあるべきもの、これをしっかり叩き込んだ上で、活動を進めてもらいたいということの周知をお願いしたいなと思っております。これがお願いの件です。

次に質問の件ですが、5月16日に岩手まで行っていただき、都市教育長協議会に出席していただいたわけでございますけれども、先ほど近畿での主な話題は聞かせていただきましたが、全国のほうではどういった方向の話題がいま出ているのか、そういったことについてご報告いただければありがたいと思っております。以上です。

教育長

そうしたら、まず最初のスポ少、指導者への教育等の周知の関係につきまして、隈崎生涯学習課長から回答いたします。

生涯学習課長

失礼します。先ほどスポーツ少年団における勝利至上主義に走っていないかという取組についてですが、まずスポーツ少年団がそもそもスポーツによる子どもの健全育成ということを組織的にしています。スポーツ少年団は、団員と、指導者、母集団（保

護者)の3つで成り立っています。それぞれに、まず子ども達が楽しむことを前提に、指導者には指導者講習会等も実施し、勝利至上主義に走らないように注意喚起をしています。また、母集団に関しても講習会をしておりまして、子どもの学齢期におけるスポーツの役割の話を講習会内でしておりますので、常に注意を図りながら活動しているところでございます。また、勝利至上主義の1つの表れでとしては、交流試合をたくさんする、遠征にたくさん行くなどが考えられますが、それについてはスポーツ少年団本部としては、まず交流試合をする前には届出をする制度になっております。そのため、過度な交流試合やたくさん親御さんに対して負担を求めるような交流試合は出来ない仕組みにはなっております。ただ、時代も変わってきておりまして、最近では、スポーツというのも「やるスポーツ」と「観るスポーツ」「支えるスポーツ」という視点が変わってきております。昔はスポーツというのは「やる」一辺倒だったのですが、最近では「観る」・「支える」というふうに視点が増えてきており、親御さんについても、従来はわざわざ自分の子どもがスポーツをしているところを観に行くことも少なかったですが、最近ではスポーツをしている子どもを観ることそのものが親御さんの楽しみになっていることもございます。そういった部分では指導者としては冷静にやりつつも、親御さんの間では加熱しすぎており、そんな中でレギュラー争いがもとで、妬みやトラブルの元になっているという側面も実はあります。ただ、さきほど申し上げたとおり、注意喚起は常に行っており、情報発信をしながら、あくまでスポーツ少年団はスポーツによる子どもの健全育成を主眼としてやっております。そこは外さないように努めているところでございます。

中木委員

今、教育委員会の取組を聞かせていただきましたが、是非ともそれが実を結ぶような取組になってほしいです。やゆもすれば、勢いがすごいところばかりに目が行きがちで、本来のあるべき姿を見過ごしがちという懸念もありますので、いまおっしゃっていただいた活動については非常に結構だと思いますが、それが本当に実を結びますように今後ともお願いしたいと思っております。以上です。

教育長

それでは、私のほうから、岩手の全国大会での説明をさせていただきます。全国大会では、まず協議会の加盟は802市・特別区がございます。その協議会の前に予算・決算、それと審議や役員の選出が行われたあと、文部科学省より初等・中等教育施策の動向についてということで教育委員会制度でありますとか、新学習指導要領、また学校における「働き方改革」、コミュニティースクールなど13項目に渡りまして、文科省のほうから概要の説明をしていただきました。冊子もこのような資料でいただいております。私にとっては、当面する課題も含めまして、新たな、そして現在の国の動向等を学習するよい機会となりました。その後、3つの部会に分かれて研修が行われました。私は、「教育の行財政」がテーマの部会に参加しました。内容は主に、小・中学校の適正規模、適正配置、小中一貫校の推進についてというものでした。このときも文部科学省より、現在の状況について説明がありました。その後、2つの市の事例発表があり、私の印象に残っているのは、宮城県名取市というところで震災の復興事業として、被災した閑上(ゆりあげ)小学校・閑上中学校の再建をどうするかということで、いろいろ学校や教育委員会、地域の方、PTAと協議した結果、校舎一体型の中高一貫校として新たな場所に建設するという事で決着し、既に工事も終わり

この春には竣工しておりました。スライド等を拝見しましたが、かなり立派な4階建ての校舎で、災害対策にも力を入れており、階段が1階から4階まで一気に登れるような津波対策用の階段を小学校棟と中学校棟にそれぞれ2箇所設けられており、また小学1年生から中学校3年生まで全員が同じフロアで給食を食べられるスペースを設けられていました。これは、いざ災害が発生したときに地域の方のスペースに移行されるものとなります。ただ驚いたのが、総工費が約43億円ということで、それぐらいかかるだろうと思っていましたが、その工事費用が100%国費の「災害復旧費」が投入され、いわゆる県費・市費は0円であるという報告があったときに会場内はどよめきが起こりました。国の予算配分に疑問をもったのは私だけではなかったのだなと感じたときでした。

中木委員のご質問にありました、全国大会のときと近畿大会のときの違いというところですが、やはり全国大会におきましても児童生徒数の減少ということが大きなテーマでありました。資料によりますと全国の8割以上の市町村で適切規模でない学校を抱えているまたは何らかの課題を認識しているという報告がありました。中には中学校1人の生徒に7人の先生を抱えているという報告もありました。改めて、本市においてもいまはこのような状況であります。今後児童生徒数の推移を見ながら、やはり将来を見据えて学校の在り方にしっかりと準備をしていかないといけないかなと感じさせられました。以上です。

教育長

ほかにございませんか。

質問等がないようですので、日程5に進みます。

日程5(1)香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告及び承認について

教育長

案件(1)承第6号「香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告及び承認について」を事務局より説明お願いいたします。

生涯学習課長

失礼します。それではただいま提案になりました承第6号「香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告及び承認について」の提案理由の説明を申し上げます。

本案は、社会教育委員のうち、社会教育関係で選出しております、市PTA協議会会長が東田直規氏から森正幸氏に交代されたことに伴う、東田直規氏の委員辞職に対し、新たに森正幸氏を香芝市社会教育委員に関する条例第2条第3項の規定により、期間を前任者の残任期間とし、委嘱の専決処分を行いましたので、香芝市教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則第4条第2項の規定によりご報告いたします。何卒、慎重審議いただき、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教育長

ありがとうございます。ただいまの説明に対しまして、なにかご意見・ご質問ございませんか。

各委員

(「なし」の声あり)

委嘱又は任命について」の提案理由の説明を申し上げます。

本案は、平成31年度使用教科用図書選定委員の委嘱または任命につきまして、香芝市附属機関設置条例別表第2の規定により、本委員会にお諮りするものでございます。選定委員としてお諮りする方々につきましては、議案書6ページに記載しております。何卒、慎重審議いただき、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

教育長 ありがとうございます。ただいまの説明に対しまして、なにかご意見・ご質問ございませんか。

各委員 （「なし」の声あり）

教育長 それでは本件について、質問がありませんでしたので、原案のとおり可決してもよろしいですか。

各委員 （「異議なし」の声あり）

教育長 それでは本件について、異議がありませんでしたので、原案のとおり可決することいたします。

日程5 追加案件（1）香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について

教育長 本日追加議案が提出されておりますが、それについて今日の日程に追加し、審議することにご異議ございませんか。

各委員 （「異議なし」の声あり）

教育長 ありがとうございます。異議がないようですので、議案を追加し、審議することいたします。

教育長 追加案件（1）承第8号「香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について」を事務局より説明をお願いいたします。

教育総務課長 失礼します。ただいま提案になりました承第8号「香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について」の提案理由の説明を申し上げます。

現在問題となっている教職員の「働き方改革」を推進させるべく、文部科学省におきまして、学校現場における業務改善加速事業が実施されているところでございます。それにともない、今年度におきましては奈良県が文部科学省より当該事業を受託しております。そして奈良県より、香芝市が当該事業の再委託を受託する予定でございます。つきましては、平成30年6月議会におきまして、補正予算を上程させていただき、議決後に業務改善事業を実施する予定でございます。補正予算の概要につきましては、歳入が奈良県から委託金として149万3000円、歳出が、講師謝礼として報償費40万3000円、旅費として28万2000円、消耗品として16万700

0円、通信運搬費として16万4000円、事務用機器借上料として47万7000円、合計149万3000円を計上しております。何卒、慎重審議いただき、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

教育長 ありがとうございます。ただいまの説明に対しまして、なにかご意見・ご質問ございませんか。

中木委員 今回の、歳入及び歳出についての補正はこれで結構ですが、1つ参考にお伺いします。国あるいは県が働き方改革という目線で、職員を増強してくださるというありがたい取組をしてくれていると思いますが、香芝市で約1名の増員と伺っています。以前から各学校の校長先生からお話を聞くと、やはり事務職員をもっと増強して欲しいという声は必ず出てきているという現状があります。1名増えるだけでも結構だと思うのですが、今後、国や県、香芝市はどのような方向を向いているのか、もし知っていることがあればお伺いします。

教育総務課 さきほど仰っていただきました、事務職員1名の増員とのことですが、今回の事業に伴うものですが、あれはあくまでも県の予算で配置させていただいているところでございます。今般の事業につきましては、さきほどの話と重複するかもしれませんが、文部科学省の主導のもと、教職員の業務改善に取り組む市町村につきまして、都道府県の県教委を通じて指定しまして、教職員の勤務実態の把握や業務改善に関する時勢研究を行うことを目的としたものであります。奈良県としては、2018年から2020年までの3カ年を集中取組期間としまして、長時間労働の是正や労働生産性の向上等の様々な実態調査を通じて検証をすすめていくものでございます。それで今年度が最初の1カ年目でございます。一応私どもも県の教職員課の担当と話をするなかでは、向こうもある程度、継続的に事務職員をできれば配置していきたいと確認しております。ただ、あくまでも予定でありますので、香芝中学校につきましても、平成31年度32年度引き続き配置されるのか、あるいは他の学校につきましても増員の措置が取られるのかは現時点では未定でございます。以上です。

教育部長 今回の業務改善の事業につきましては、さきほど教育総務課長から説明があったとおりですが、香芝中学校に配置されている事務職員については3年程度を目処にという考えを県が持っているというところでございます。ただ、全国的な動向としては、教職員が担うべき業務といった点で国が明確に業務分担について示しておりますので、そういった中で、今後は部活動の支援員ですとか、あとスクールサポートスタッフ、学校のプリント刷りですとか簡単な教職員の業務をサポートするスタッフの増員ですとか、それ以外にもスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった、チーム学校といった名目での職員の強化といったことを、長い目で国のほうは考えています。そういった中で、教職員が担うべき仕事と、専門員が担うべき仕事を明確にして業務改善を図るというような方向性が出ていていると聞いておりますので、国のほうも即座に予算化することは難しいとはいえ、徐々にこういう業務改善が進んでいくだろうと私どもは認識しております。以上です。

中木委員 業務改善、要は学校の教師としてあるいは事務職職員として何をしなければいけないのかというところをしっかりとこのような機会に見つめ直すということについて、例えば私達は校区担当といったことがありますので、それぞれの学校の具体的な意見も含めて聞かせていただくと同時に、教師のあるべき姿を基本にあるわけですが、それにむけてやれるように我々も一緒に活動していきたいなと思っています。教育委員会としても、本当にやってもらいたいことをやっていただいているということ、管理職だけでなく先生や職員が感じてもらえるような環境を作るという役割が教育委員会にはあるので、今後とも我々教育委員もそれに向けて一緒に活動したいと思っています。また、事務局もその方向になるよう今後ともよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

教育長 それでは本件について、ほかに質問がありませんでしたので、原案のとおり承認してもよろしいですか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 それでは本件について、異議がありませんでしたので、原案のとおり承認することといたします。

日程5(4)その他報告

教育長 その他案件として各課より報告等があればお願いいたします。

市民図書館長 失礼いたします。4月の第4回教育委員会会議において皆様にお知らせさせていただきました、子ども読書の日関連事業として今月12、13日の2日間「ようこそ本のゆうえんちへ」と名づけたイベントを実施させていただきました。文化センター2階を会場にいたしまして、12日は樟蔭女子大学の学生による大型絵本の読み聞かせや紙人形、13日には、絵本にちなんだコンサートを行いました。また両日、手作り絵本のコーナーなど4つのコーナーを設置し実施したところでございます。ただし、13日は激しい雨の降るあいにくの天気となったのが残念でしたが、2日間で延239名の方に来ていただいたという結果となりました。以上報告させていただきます。

教育長 ありがとうございます。ただいまの報告に対しまして、なにかご意見・ご質問ございませんか。

中木委員 2日間で239名、熱心な方がおられたというご報告だったのですが、子どもを対象に読書の日を設定したというところですが、今後はどのような見通しでこういう活動をしていく、あるいは計画についてお聞かせ願えますか。

市民図書館長 これ以外にも、年間を通じて子どもを対象としたいろんな計画を組んでいるところでございます。いま現在5月につきましては、この「ようこそ本のゆうえんちへ」が終わったあと、図書館の隣にあります視聴覚室におきまして、えほんパークというコーナーを設けさせていただきました、いろんな絵本を閲覧したり、借りたりすること

ができるコーナーを設置しております。エレベーターを降りたときや階段で3階へ来たときに目がつくようなところに案内看板を出させていただいております。連日予想以上の方が利用しており、3回ほど本が少なくなったので、新しい本を追加で置かせていただくなどご好評いただいているところでございます。また、学校への巡回図書も開始しておりますし、さらに小学3年生の方も図書館見学に来ていただいています。今後もそのような絵本に限らない子どもを対象とした事業をいろいろ実施し、夏休み期間にも子どもを対象とした事業を計画しているところでございます。

中木委員

ありがとうございます。先日伊丹市へ見学された図書館について感じたことを経営会議であげていただいたということなのですが、来館者が減っているという全体的な流れの中で、子どもをターゲットとしてやっていただいているということが非常に良い点だと思いますので、他の自治体の見学で身につけた知恵を含め、今後とも輪が広がるような活動をしていただきたいと思います。以上です。

教育長

ありがとうございます。ほかになにかご意見・ご質問ございませんか。ないようですので、次の報告をお願いします。

学校教育課長

失礼します。学校運営協議会のことについて説明させていただきたいと思います。平成29年4月の法改正を受け、現在学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務となっております。平成29年度に二上小学校へ学校運営協議会を設置したことでコミュニティ・スクールとなりましたが、今後の香芝市の方向性を5月の校長会や教頭会などで各学校の管理職に示させていただきました。今回、香芝市版コミュニティ・スクール構想として現在各学校で取り組まれている学校地域パートナーシップ事業に基づく、学校コミュニティ協議会を母体とする学校運営協議会の設置を2020年度末を目標にさせていただいています。具体的には、コミュニティ協議会にいわゆる「知」「徳」「体」の3つの部会を設置していただき、その代表の方がその学校の運営協議会の委員となっていただき、中学校区ごとに横の連携をとりながら9年間を見通した教育活動のあり方を考えていこうという試みです。現在、各学校のコミュニティ協議会の活動内容や各部会の構成もさまざまです。先日より今年度の一回目の学校のコミュニティ協議会が各校で実施され始めておりますが、その場に出席しまして、この香芝市版コミュニティ・スクール構想について保護者の方、地域の方、あるいは先生方等に説明をしている段階であります。また教育委員の皆様においても、2020年度末を目標としておりますが、それぞれ各学校への相談に乗っていただきながら、スムーズにことが運べるようにご協力していただけたらと思います。以上です。

教育長

ありがとうございます。ただいまの報告に対しまして、なにかご意見・ご質問ございませんか。

中木委員

いま現在1校、これを14校に増やす、それもあと3年ほどですということについてですが、やはりこれからのコミュニティ・スクールは従来の活動から大きく幅が広がりますし、それぞれ団体の責任や権限が大きくという方向ですよね。実際そこで

活動している人々にいかにやる気や意欲を出させる環境を醸成できるのかが成否を決めるのかなと思います。エサを与えたら何かが釣れるというような発想ではなく、やはり地域のために、学校のためにという思いをお持ちの方がこの市内にはたくさんいるわけで、その人たちの意欲をいかに引き上げていただくかということを経験だけでなく教育委員会も上手く仕掛けを作っていくということも今後の私達の仕事だと思います。学校ばかりに押し付けるのはほんでもないことになるかだと思います。この制度自体はいい方向に向いていると思いますので、上手な仕掛けを教育委員会としても誘導していけるように、いろんな知恵を集めたらいいのかなと思いますので、今後よろしくをお願いします。

教育長 ありがとうございます。ほかになにかご意見・ご質問ございませんか。
ないようですので、次の報告をお願いします。

教育部次長 失礼します。こども課の案件ですが、今年度こども課のほうでは、公立幼稚園・保育所の再編整備計画を作成しております。その中で、幼稚園・保育所の再編や、また質の高い保育・教育を一体的に提供するための取組に向けた基礎資料を作るためにアンケート調査を実施したいと思っております。今月末に対象1000名の0～5歳の就学前の児童を無作為に抽出し、その保護者を対象にアンケート送付させていただき、6月末締切で回答をお願いするものでございますので、このような取組をしているというご報告をさせていただきます。以上です。

教育長 ありがとうございます。ただいまの報告に対しまして、なにかご意見・ご質問ございませんか。

中木委員 アンケートを実施していくということは1つの手法として大事なことだと思いますが、アンケートをした際に回答回収率が非常に低いといったことも伺っております。今回も1000人に対して回収率が最低でも7割以上、多ければ多いほどいいという中で、保護者へどのようなアンケートを送付したのかを簡単に教えてください。

教育部次長 一応回収率のこともございますので、極力負担のないアンケートにしており、基本的には選択式の形式にし、最後のその他欄を除き、すべて丸をつけていただくような選択式にしました。以上です。

教育長 ありがとうございます。ほかになにかご意見・ご質問ございませんか。

教育長 ないようでしたら、次回の教育委員会会議の日程を決めたいと思います。次回の平成30年第6回教育委員会会議（6月定例）は6月26日火曜日午後1時30分からのお予定でお願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

教育長 それでは、本日の案件はすべて終了いたしました。これもちまして平成30年第5回（5月定例）教育委員会会議を閉会いたします。委員の皆様には、慎重審議をいただきましてありがとうございました。また、今後ともよろしくお願ひいたします。

それでは閉会といたします。

(午後 2 時 2 5 分 閉会)